花沢建材工業株式会社

油水分離槽アクシス

製品カタログ

花沢建材工業株式会社

AQSYS ver2.0 2023-12

本社 / 経理部　〒289-1527 千葉県山武市松尾町大堤 318
Tel 0479-86-3221　Fax 0479-86-3222

工場 / 営業部　〒289-1537 千葉県山武市松尾町借毛本郷 715
Tel 0479-86-3741　Fax 0479-86-5500

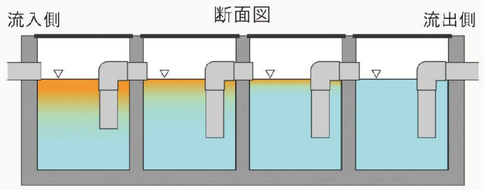
千葉営業所　〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 4-10-16 CI-22 ビル
Tel 043-215-7310　Fax 043-215-7311

お問い合わせ
TEL 0479-86-3741

メールアドレス
chiba@hana-ken.co.jp

ホームページ
http://hana-ken.co.jp/

油水分離槽について



油水分離槽は、油と水の比重の違いを利用し、重力で油と水を分離する排水施設です。基本的な構造は、槽内に遮蔽板等のトラップを設置し、排水がゆっくりと槽内を流れるようにトラップ管は互い違いにします。油と水は槽内やトラップを経由することで油が浮上し、沈殿物は沈みます。汚濁負荷の減った水を下水道等に排水することが出来ます。油水分離槽はトラップ構造を持つので、グリーストラップやオイルトラップとも呼ばれています。油水分離槽の定期的なメンテナンスは重要で、点検や管理を怠ると油が溜まりすぎて流出したり、沈殿物が槽内のトラップ管を塞いだりするので、維持管理は重要です。

当社の油水分離槽は油と水の比重の差を利用した「自然浮上(重力式)分離法」を採用しています。油水分離槽は連槽構造で蓋や維持管理の配慮など 複雑になるため、現場打ちコンクリート施工では工期やコストが大幅にかかります。当社は二次製品として、小型から大型規格の油水分離槽まで各種そろえています。現場では各ユニットを接続することで、工期短縮し比較的容易に設置することが可能です。

油水分離槽ラインアップ

ACHシリーズ

即納

小型 / 容量1.0～1.3㎥

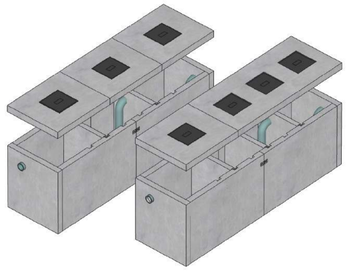
ACHシリーズはガソリンスタンド、自動車修理工場や洗車場など主に消防法や自動車リサイクル法に関わる事業所に使用される最もスタンダードな油水分離槽です。かさあげユニットを使用することで、土被りが深い現場でもご対応可能です。

AQSシリーズ

短納期

中型 / 容量 3.3～4.5㎥

AQSシリーズはACHシリーズではカバーできない中規模の容量を確保しながらも、3槽と4槽を兼用構造とすることで短納期を実現しました。複数個所に設置する場合や、多数を並列に連結する場合などに最もパフォーマンスの良いシリーズです。

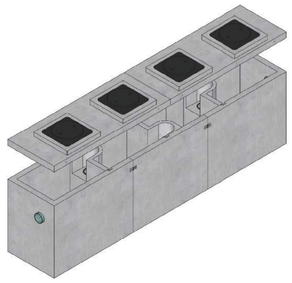


AQシリーズ

オーダーメイド

大型/ 容量 3.8～30㎥

AQシリーズは大型タイプで工場や雨水混入等、排水容量が多い設置場所の容量に応じて、様々な規模で選択できるよう、ラインアップが豊富です。開口位置指定・管径指定・田式やかさ上げなど全ての特注にご対応可能です。規格表には記載ありませんが、30㎥級製品も対応しております。



容量検討 その他サポート

流入量や設置条件に応じて、必要項目を確認のうえ容量計算を行っております。また、上記のACH・AQS・AQシリーズについては特注対応のご相談も承っております。

ACHシリーズ(小型)の基本構造

T-25鋳鉄蓋

T-25鋳鉄蓋は21㎏の軽量な蓋です。
施工時や維持管理時の重い蓋の開閉作業を軽減します。

止水ゴム継手(管固定用)

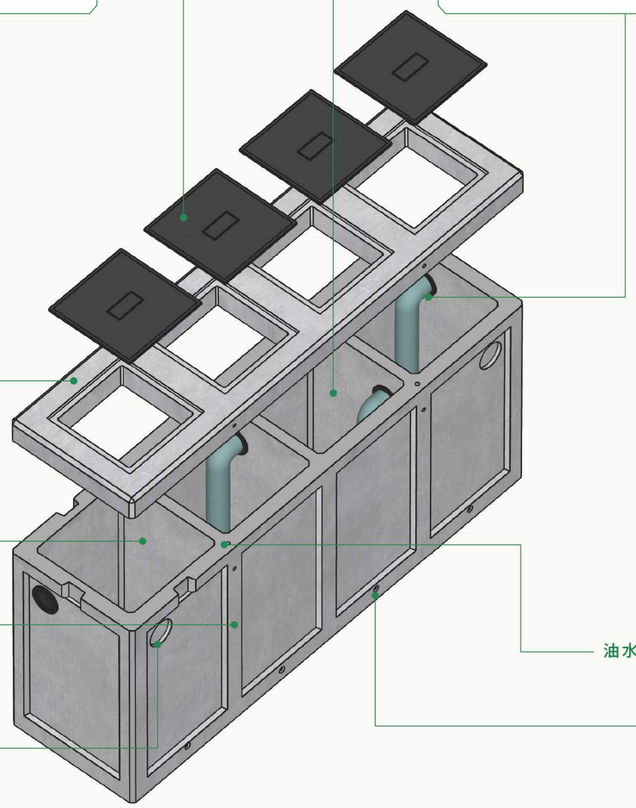
管の固定にはモルタルや孔開け加工は必要ありません。壁の開孔に止水ゴム継手をセットして管を通すだけ

セパレート式底面開口

第1槽目と第2槽目の間の壁面にセパレート方式の底面開口を採用しました。

塩ビトラップ管

流入管以外の塩ビトラップVP100が付いています。オプションで鋼管ベンドパイプに変更できます。



スラブ版

連結プレート(M16)

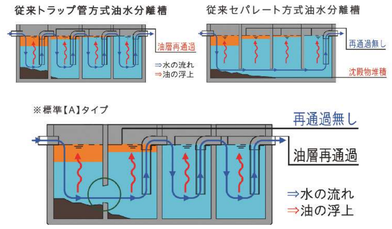
(φ150&φ100)

油水分離槽本体(底有)

水抜き・止水栓

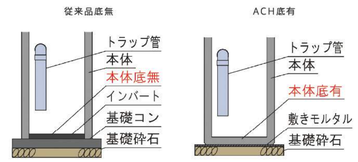
ACHシリーズ(小型)の特徴

01 当社独自の分離構造



①1槽目は流入水の勾配などで乱流が起こりやすく分離能力が阻害されやすい
②トラップ管内外の劣化が早いため清掃・維持管理手間がかかる
そこで、負荷のかかる1槽には、セパレート方式を採用することで、これまでの問題を解決できます。

02 本体は底付一体でインバート・基礎コンクリートが不要

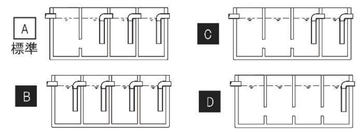


従来小型タイプは底版がなく、インバートを施工していたので漏水のリスクがありました。ACH油水分離槽では特殊製法により底版一体型になりましたので、インバートも基礎コンも不要です。

03 トラップ管取付はモルタル・コーキングも不要

従来製品は管取付の際に開口・モルタル充填作業が必要でしたが、専用の「止水ゴム継手」をセットしています。
※トラップ管(エルボ＋直管)は組み立てた状態で納品します。

04 4種類の分離方式から選択可能

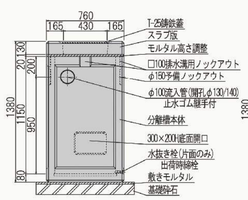


壁　面	方式バリエーション（例：4槽）			
	A.標準	B.type	C.type	D.type
槽内第一壁	底孔	曲管	底孔	底孔
槽内第二壁	曲管	曲管	底孔	底孔
槽内第三壁	曲管	曲管	曲管	底孔
流　出　壁	曲管	曲管	曲管	曲管

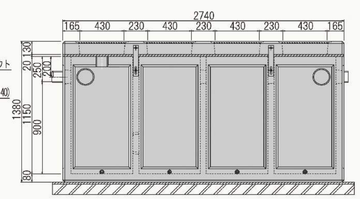
現場のご要望に応じて、上記A～Dをご選択できます。A・Bを通常在庫としています。

ACH-600直列4槽

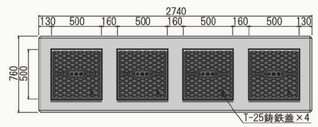
組立正面図



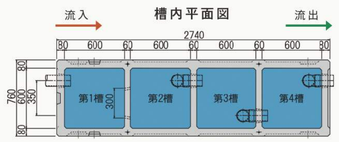
組立側面図



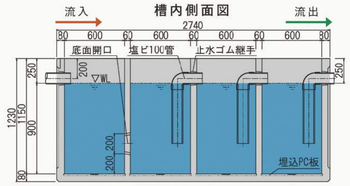
平面図



槽内平面図



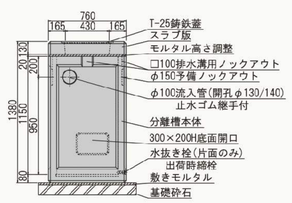
槽内側面図



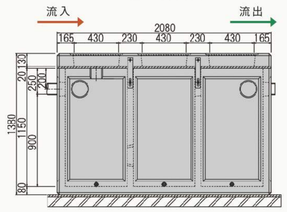
呼び名	数量	重量(kg)	備考	呼び名	数量	備考
油水分離槽本体	1基	1900x1	-	止水ゴム継手	4個	管固定用 材質:NBR
スラブ版	1枚	392x1	-	止水栓	4個	白プラグ 1/2
T-25鋳鉄蓋	4枚	21x4	-	M16吊用アイボルト	4個	本体天端/ スラブ側面吊
100塩ビトラップ管	3組	-	塩ビVP 100	連結プレート	4枚	M16ボルト付
参考重量合計	2376(kg)			参考容量	1.292(m3)	

ACH-600直列3槽

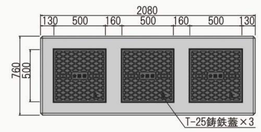
組立正面図



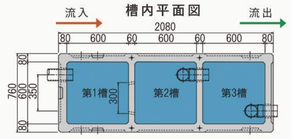
組立側面図



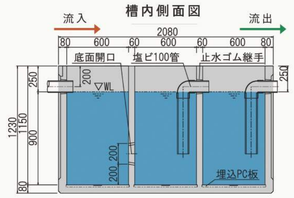
平面図



槽内平面図



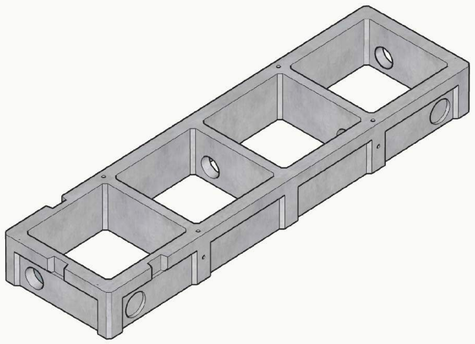
槽内側面図



呼び名	数量	重量(kg)	備考	呼び名	数量	備考
油水分離槽本体	1基	1470x1	-	止水ゴム継手	3個	管固定用 材質:NBR
スラブ版	1枚	300x1	-	止水栓	3個	白プラグ 1/2
T-25鋳鉄蓋	3枚	21x3	-	M16吊用アイボルト	4個	本体天端/ スラブ側面吊
100塩ビトラップ管	2組	-	塩ビVP 100	連結プレート	4枚	M16ボルト付
参考重量合計	1833(kg)			参考容量	0.970(m3)	

ACHシリーズ(小型) オプション製品

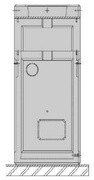
かさあげユニット



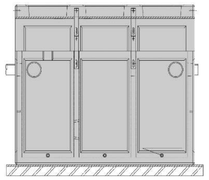
かさあげユニットの特徴

ACHシリーズは4槽・3槽ともに深い土被りに
対応可能なかさあげユニット(H300)をご用意しています。
※特注Hサイズは別途ご相談となります

本体とかさあげユニットの組み合わせ例

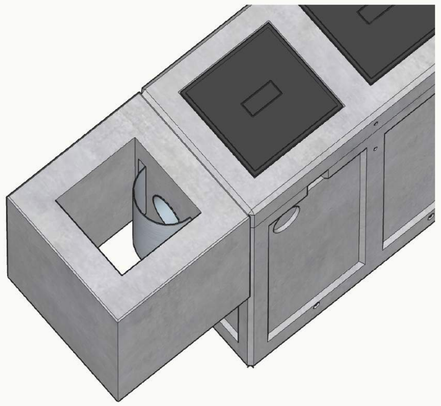


組立正面図



組立側面図

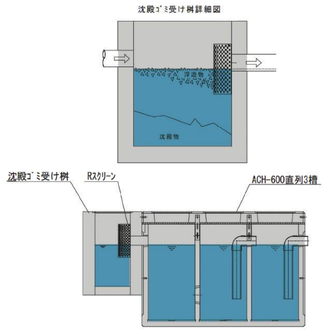
沈殿ゴミ受け桝



沈殿ゴミ受け桝の特徴

- ゴミ受Rスクリーンは油水分離槽への浮遊物の流入を抑制し、油は通過させる
- 菅口用カゴ(網)と違い、スクリーンは上下を塞がないことが重要で、ゴミ詰まりによる油流出事故を防止
- 沈殿ゴミ受槽内には油は殆ど溜まらないので点検、ゴミの除去や清掃が簡単にできる
- 油水分離槽より清掃が楽な浅い槽で沈殿物の状況を確認し、維持管理ができる

沈殿ゴミ受け桝とACHシリーズの組み合わせ例



施工事例

油水分離槽設置工事

愛知県知多郡
#油水分離槽AQ201420

油水分離槽布設替え工事

千葉県いすみ市
#油水分離槽AQ101412

駐車場整備工事

千葉県成田市
＃油水分離槽AQ101415

東京都内官庁工事

東京都新宿区
#油水分離槽ACH4槽(連通管削孔・H400嵩上げ)

AQSシリーズ（中型）の基本構造

スラブ

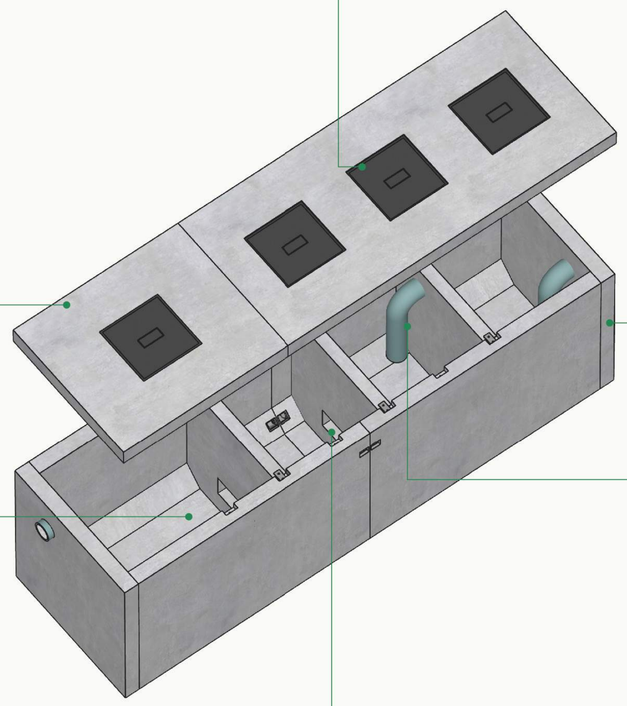
4槽では3槽用を1枚兼用、もう1枚は4槽専用となります。

500角鋳鉄蓋

ACHシリーズと同じ軽量（21kg）の鋳鉄蓋を採用。コンパクトで維持管理に優れています。

油水分離槽本体

2ユニットを中央で連結する構造になっています。



4槽タイプは、油が滞留しやすい1槽目の容量を他の槽よりも大きく確保しています。

セパレート式開口

4槽タイプでは2槽目にも開口が付いています。

塩ビトラップ管（φ150）

4槽はφ150が２本、3槽は1本付いています。

AQSシリーズは流出入位置・管径は固定となります。特注仕様をご希望の場合は、AQシリーズで対応させていただきます。

AQSシリーズ（中型）の特長

01 短納期で大容量

従来の小型油水分離槽ではカバーできない容量を1基で確保しているため、差し迫った工期でも即納可能です。また、並列や直列で複数基使用することも可能ですので容量検討の際に配列レイアウトのご提案をさせていただきます。
※本体は在庫品となりますので、特注のご指定仕様の場合は別途加工が必要となります。

02 底面開口で流入をスムーズに

ACHシリーズと同じようにセパレート式底面開口を採用していますので、急流による攪拌に強く初期段階の急激な降雨に効力を発揮します。
清掃・維持管理面においても1槽目の負荷を軽減できますので、安全にご利用いただけます。
3槽タイプでは1槽目がセパレート式、4槽タイプでは1槽目と2槽目がセパレート式となっています。

03 さらに施工を省力化

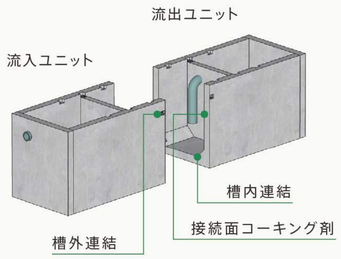
AQSシリーズは、本体が3ユニットで構成されているAQシリーズをさらに省力化するため、2ユニットで構成されています。
連結・止水作業が本体部分には1つの断面だけになっており、納入時点でトラップ管はセットして出荷しますので、現場作業がほとんど省力化されています。

04 コスト低減

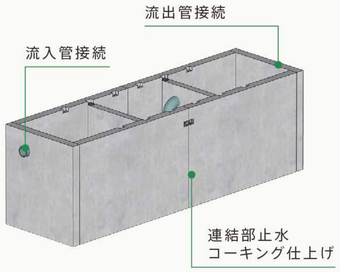
オーダーメイド型のAQシリーズに比べ、規格・構造が固定な分販売価格を圧縮することに成功しました。
中～大容量を設置の際は、AQSシリーズとAQシリーズをぜひ比較検討ください。

AQSシリーズ組み立て例

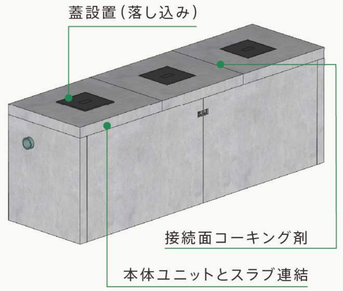
01 本体連結



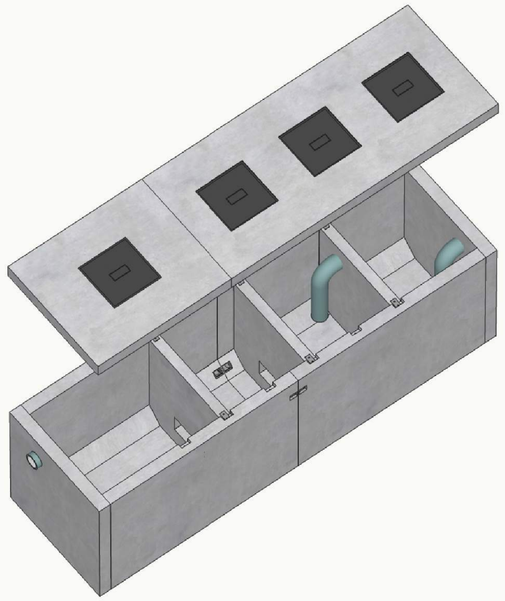
02 槽内仕上

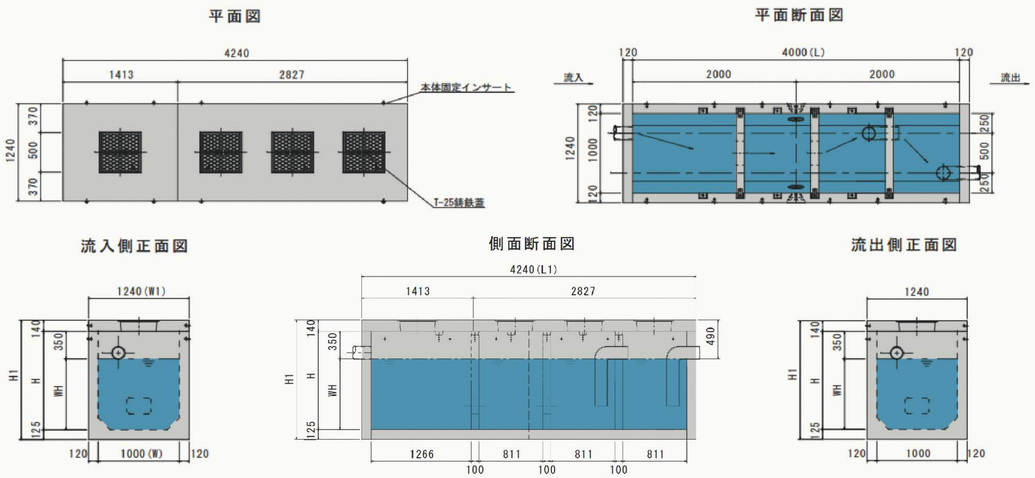


03 スラブ・蓋設置、完成



AQS-1000 直列4槽

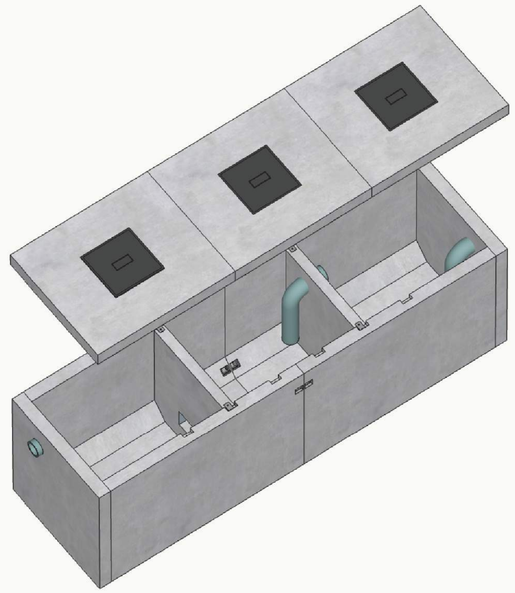


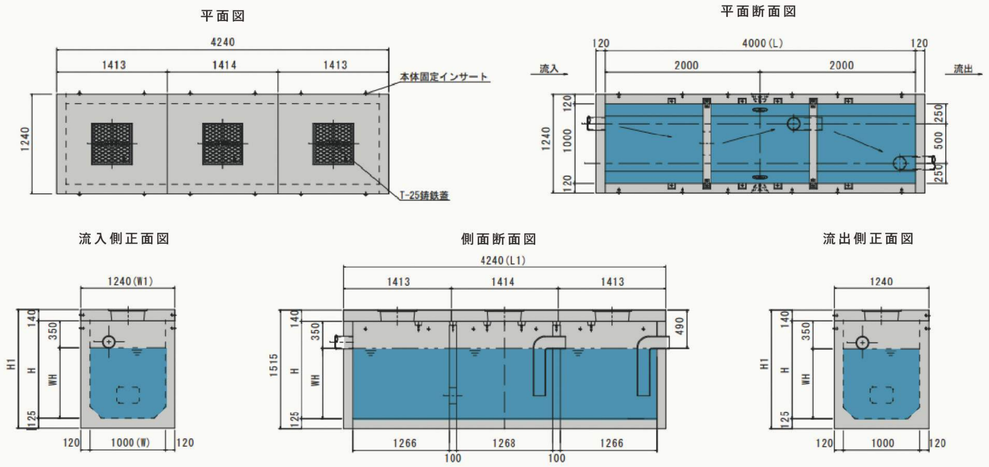


呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1
AQS 103712	4槽式	1000	1240	1250	1515	900	4000	4240
AQS 103715	4槽式	1000	1240	1550	1815	1200	4000	4240

呼び名	槽数	参考重量				容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体流出	スラブ(計)	全重量		L/min	m3/h
AQS 103712	4槽式	3200	3500	1840	8540	3.24	27.00	1.62
AQS 103715	4槽式	3750	4120	1840	9710	4.34	36.17	2.17

AQS-1000 直列3槽

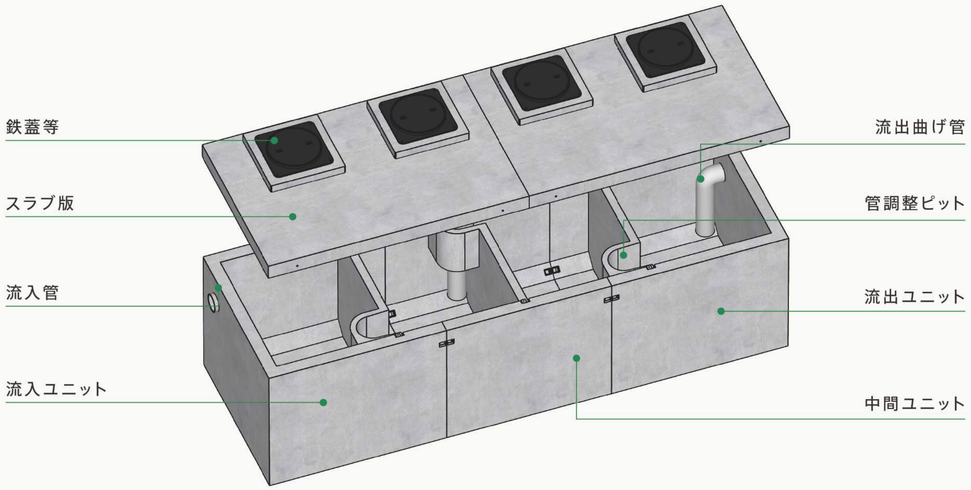




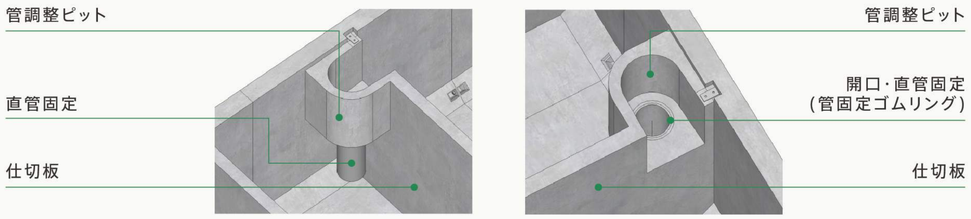
呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1
AQS 103812	3槽式	1000	1240	1250	1515	900	4000	4240
AQS 103815	3槽式	1000	1240	1550	1815	1200	4000	4240

呼び名	槽数	参考重量				容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体流出	スラブ(計)	全重量		L/min	m3/h
AQS 103812	3槽式	3200	3500	1840	8240	3.33	27.75	1.67
AQS 103815	3槽式	3750	3750	1840	9340	4.47	37.25	2.24

AQシリーズ(大型)の基本構造



管調整ピットの構造

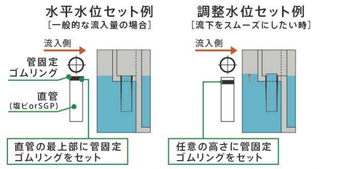


槽内流入側　　槽内流出側

調整ピットとは

浮上分離式の油水分離槽の分離能力を納入後の維持管理作業の中で調整できるようにする当社独自構造です。流入負荷の大きい上段槽は水位が上昇したままになりますが、管調整ピット内の管高さ調整を行うことにより流入負荷を軽減することができます。

水位調整方法



※管調整ピットの水位レベル調整方法についてはお問合せください。

01 管内の油のこびり付きや汚れも目視でき、清掃も簡単

02 油水分離槽内の水位は一般的に水平ですが、流入水量や水圧による負荷が大きい場合のために、水位レベル調整が可能な構造を採用(前段槽の水位の過剰上昇を抑制)

03 油水分離槽内のトラップ構造の構築が容易(穴加工・管加工・モルタル詰め作業等不要)

AQシリーズ(大型)の特長

01 サイズバリエーションが豊富

油水分離槽は集水面積・降雨強度を検討したうえで適切な容量の選定が求められます。
規格品ラインアップは18種類規格があり、容量計算を当社で実施したうえで現場によって容量の合う製品をご提供できます。
例えば、直列4槽で容量30㎥も可能で、直列・並列でご希望のサイズをご提案します。

02 施工性の良さ

従来の大型油水分離槽は単槽を連結させるのが一般的でしたが、AQシリーズは「3ユニット4槽」なので連結工程が省力化されています。
ユニット内の仕切版の位置や枚数は自由に決めていただくことができ、現場打ち設計の代替え製品としてご提案しやすい構造となっています。

03 槽内構造のプレキャスト化

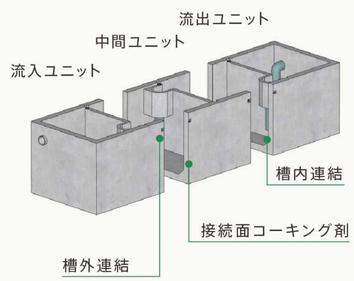
従来の製品は狭い槽内でドリル削孔・アンカー固定・モルタル充填など、槽内構造を現場で施工する負担がかかっていました。
当社のAQシリーズは現場搬入時点で管がセットされているので、現場で管取付作業や管の止水作業が一切ありません。

04 管底高調整可能

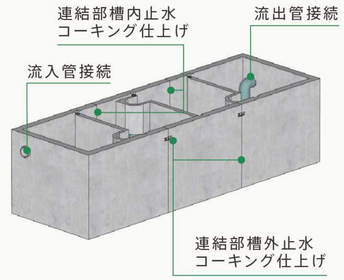
全てオーダーメイドに対応します。管底高を上げれば容量を増やすこともでき、下げれば土被りを確保できます。
また、管の素材変更(塩ビ・鋼管・SUS)や連通管、角型の開口など自在に対応します。

AQシリーズ組み立て例

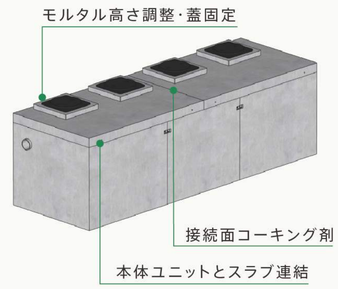
01 本体連結



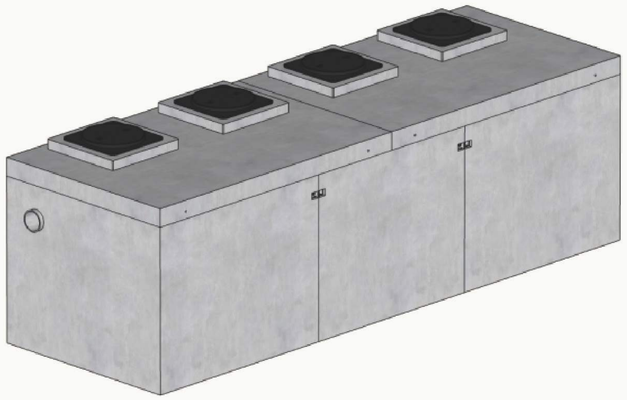
02 槽内仕上

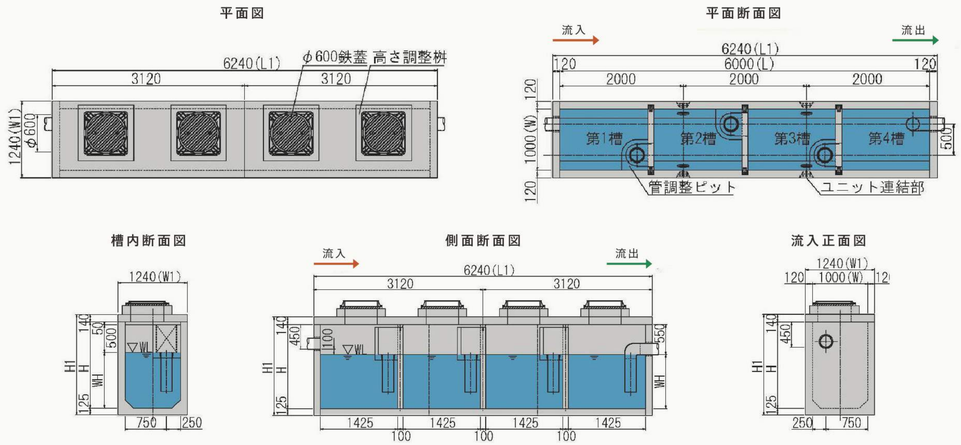


03 スラブ・蓋設置、完成



AQ-1000シリーズ

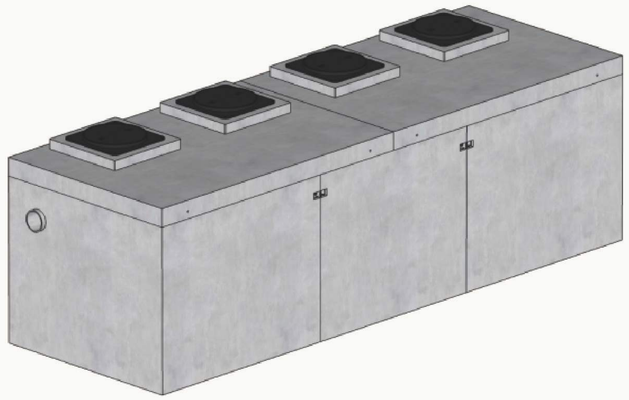


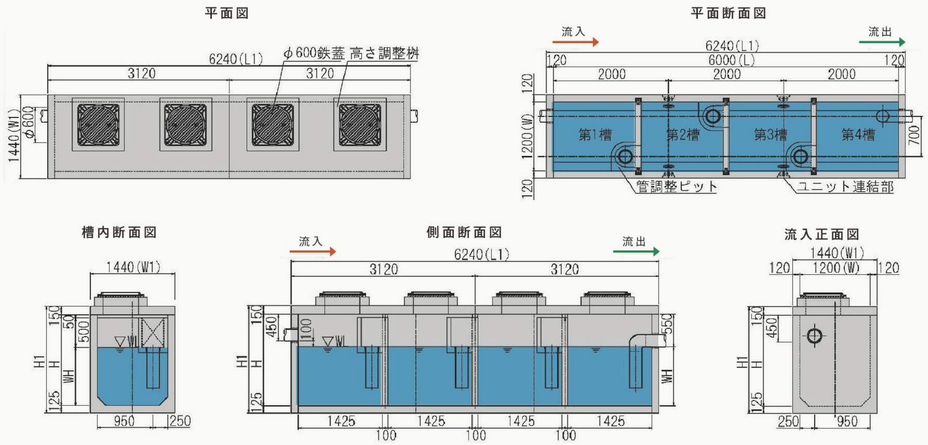


呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1	容量(m³)	全重量(kg)
AQ 101412	4槽式	1000	1240	1250	1515	700	6000	6240	3.76	11093
AQ 101415	4槽式	1000	1240	1550	1815	1000	6000	6240	5.46	12561

呼び名	槽数	参考重量(kg)						容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体中間	本体流出	スラブ1	スラブ2	全重量		L/min	m3/h
AQ 101412	4槽式	3156	2665	3156	1058	1058	11093	3.76	31.33	1.88
AQ 101415	4槽式	3681	3083	3681	1058	1058	12561	5.46	45.50	2.73

AQ-1200シリーズ

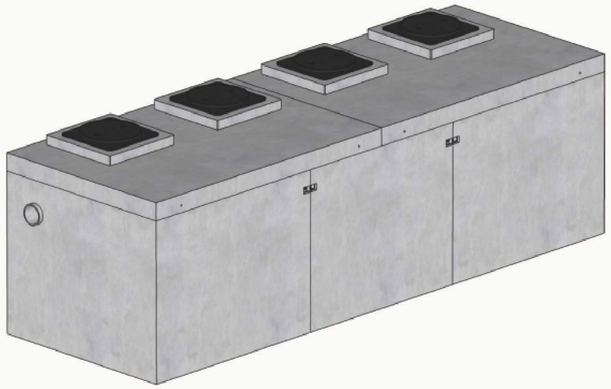


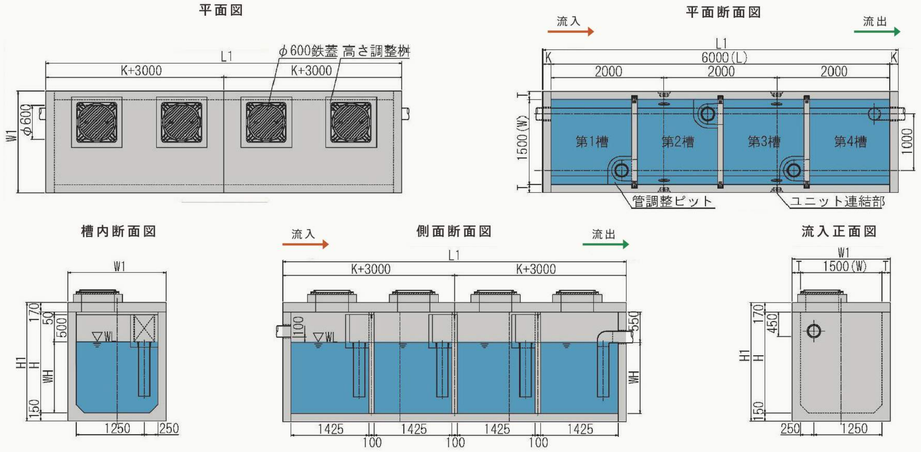


呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1	容量(m³)	全重量(kg)
AQ 121412	4槽式	1200	1440	1250	1525	700	6000	6240	4.55	12382
AQ 121415	4槽式	1200	1440	1550	1825	1000	6000	6240	6.60	13931

呼び名	槽数	参考重量(kg)						容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体中間	本体流出	スラブ1	スラブ2	全重量		L/min	m3/h
AQ 121412	4槽式	3412	2842	3412	1358	1358	12382	4.55	37.92	2.28
AQ 121415	4槽式	3970	3275	3970	1358	1358	13931	6.60	55.00	3.30

AQ-1500シリーズ

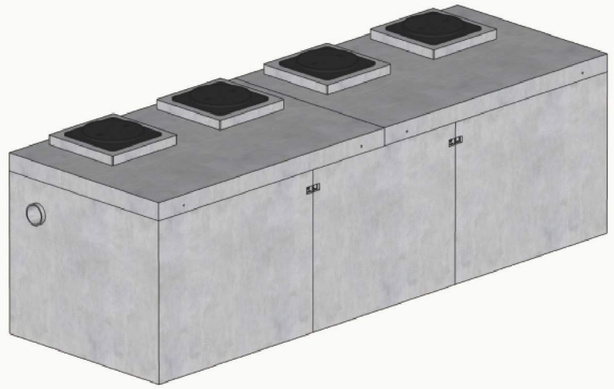


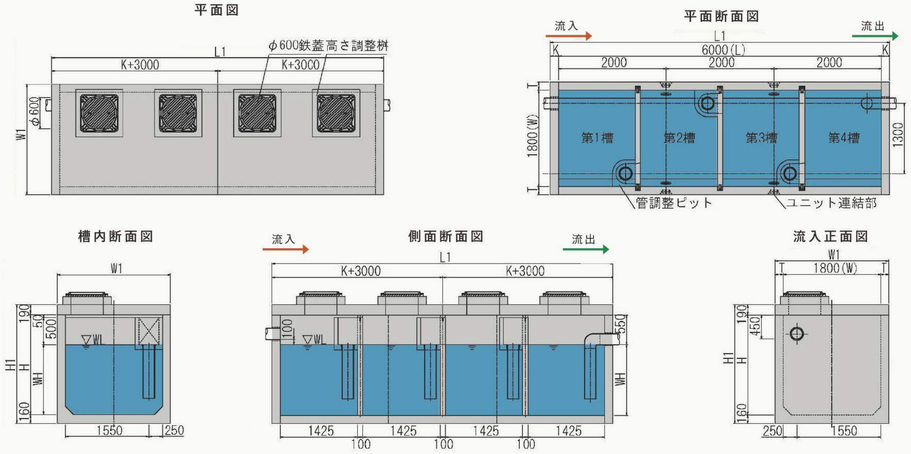


呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1	T	K	全重量(kg)
AQ 151412	4槽式	1500	1760	1250	1570	700	6000	6260	130	130	15802
AQ 151415	4槽式	1500	1760	1550	1870	1000	6000	6260	130	130	17581
AQ 151418	4槽式	1500	1800	1850	2170	1300	6000	6300	150	150	21035
AQ 151420	4槽式	1500	1800	2050	2370	1500	6000	6300	150	150	22375

呼び名	槽数	参考重量(kg)						容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体中間	本体流出	スラブ1	スラブ2	全重量		L/min	m3/h
AQ 151412	4槽式	4221	3452	4221	1954	1954	15802	5.75	47.92	2.88
AQ 151415	4槽式	4869	3935	4869	1954	1954	17581	8.30	69.17	4.15
AQ 151418	4槽式	6097	4801	6097	2020	2020	21035	10.86	90.50	5.43
AQ 151420	4槽式	6587	5161	6587	2020	2020	22375	12.56	104.67	6.28

AQ-1800シリーズ

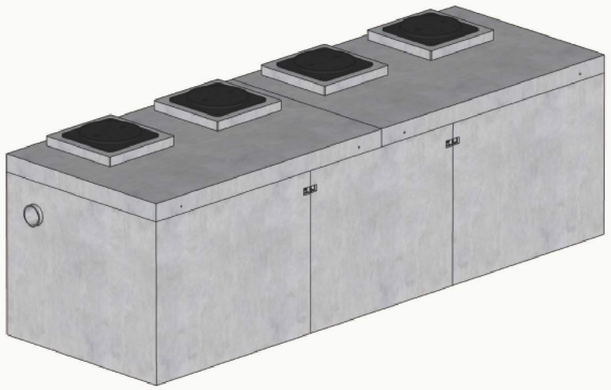


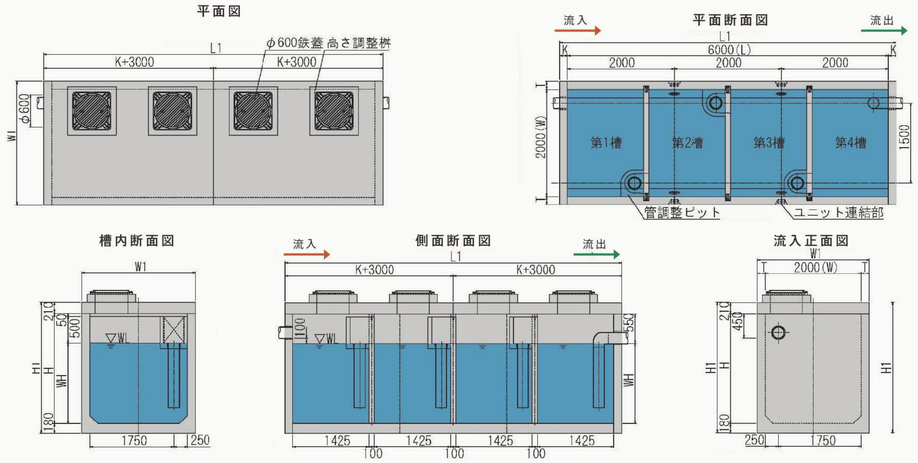


呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1	T	K	全重量(kg)
AQ 181412	4槽式	1800	2060	1250	1600	700	6000	6260	130	130	18595
AQ 181415	4槽式	1800	2060	1550	1900	1000	6000	6260	130	130	20493
AQ 181418	4槽式	1800	2100	1850	2200	1300	6000	6300	150	150	24157
AQ 181420	4槽式	1800	2100	2050	2400	1500	6000	6300	150	150	25584

呼び名	槽数	参考重量(kg)						容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体中間	本体流出	スラブ1	スラブ2	全重量		L/min	m3/h
AQ 181412	4槽式	4759	3853	4759	2612	2612	18595	6.94	57.83	3.47
AQ 181415	4槽式	5456	4357	5456	2612	2612	20493	10.01	83.42	5.01
AQ 181418	4槽式	6767	5247	6767	2688	2688	24157	13.07	108.92	6.54
AQ 181420	4槽式	7293	5622	7293	2688	2688	25584	15.12	126.00	7.56

AQ-2000シリーズ

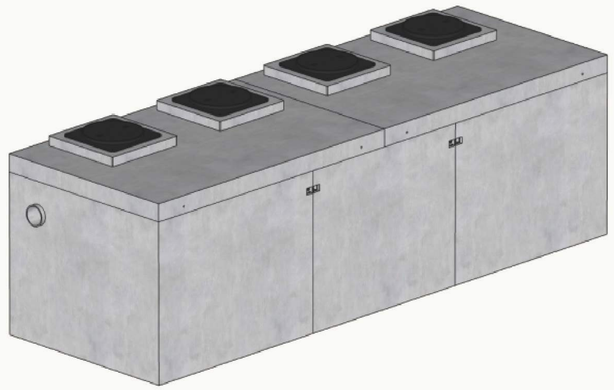


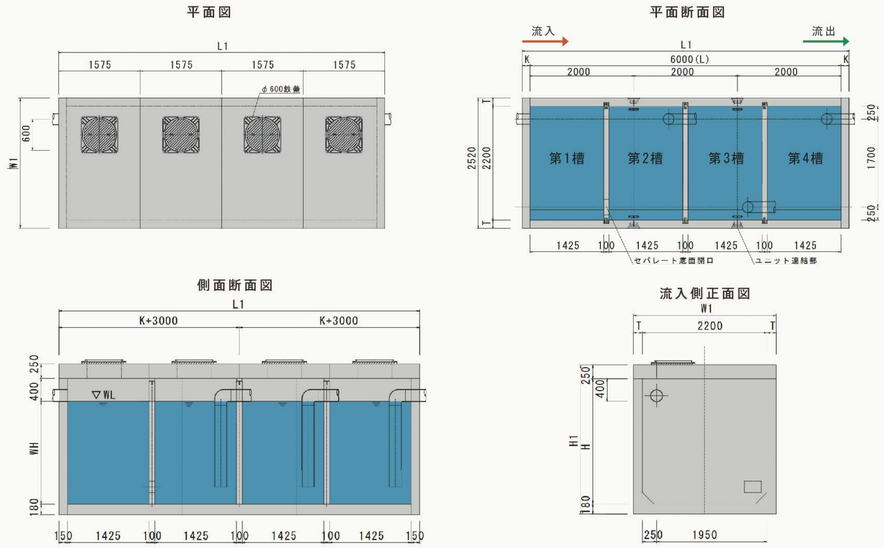


呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1	T	K	全重量(kg)
AQ 201412	4槽式	2000	2260	1250	1640	700	6000	6260	130	130	21266
AQ 201415	4槽式	2000	2260	1550	1940	1000	6000	6260	130	130	23244
AQ 201418	4槽式	2000	2300	1850	2240	1300	6000	6300	150	150	27062
AQ 201420	4槽式	2000	2300	2050	2440	1500	6000	6300	150	150	28544

呼び名	槽数	参考重量(kg)						容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体中間	本体流出	スラブ1	スラブ2	全重量		L/min	m3/h
AQ 201412	4槽式	5290	4282	5290	3202	3202	21266	7.73	64.42	3.87
AQ 201415	4槽式	6020	4800	6020	3202	3202	23244	11.14	92.83	5.57
AQ 201418	4槽式	7389	5708	7389	3288	3288	27062	14.55	121.25	7.28
AQ 201420	4槽式	7938	6092	7938	3288	3288	28544	16.82	140.17	8.41

AQ-2200シリーズ（1槽セパレート型）





呼び名	槽数	W	W1	H	H1	WH	L	L1	T	K
AQ 221420	4槽式	2200	2520	2000	2430	1600	6000	6300	160	150
AQ 221422	4槽式	2200	2520	2200	2630	1800	6000	6300	160	150

呼び名	槽数	参考重量(kg)								容量(m3)	参考許容流入量	
		本体流入	本体中間	本体流出	スラブ1	スラブ2	スラブ3	スラブ4	全重量		L/min	m3/h
AQ 221420	4槽式	8790	6730	8790	2480	2480	2480	2480	34230	19.76	164.67	9.88
AQ 221422	4槽式	9420	7170	9420	2480	2480	2480	2480	35930	22.26	185.50	11.13

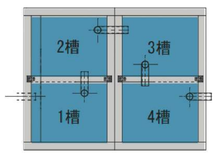
AQ田式

AQ田式の特徴

AQシリーズは直列槽・並列槽へのご対応だけでなく、田式に連結した配列もご対応可能です。
サイズはAQ1000～2200全てのユニットを田式配列で現場状況に応じた
組み合わせをご提案させていただきます。

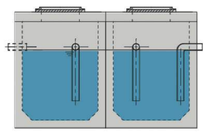
平面断面図

流入→



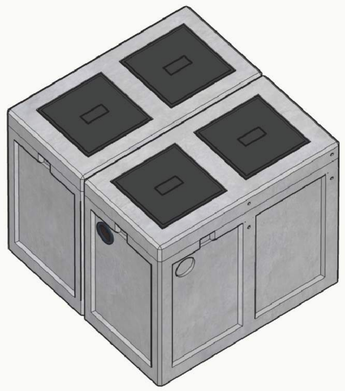
流出→

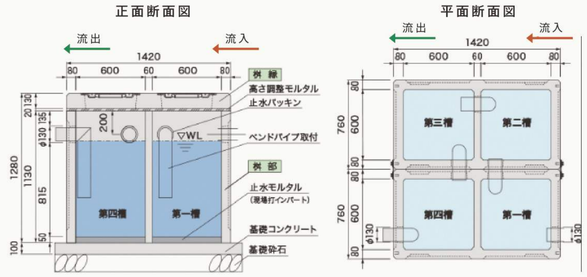
側面断面図



ACシリーズ一覧

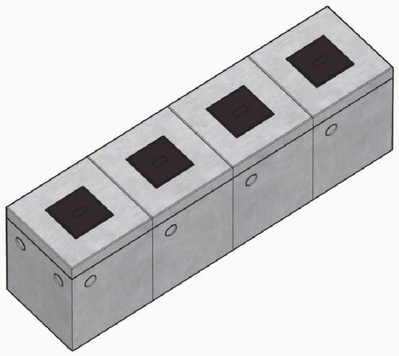
AC-600田式4槽(底無)

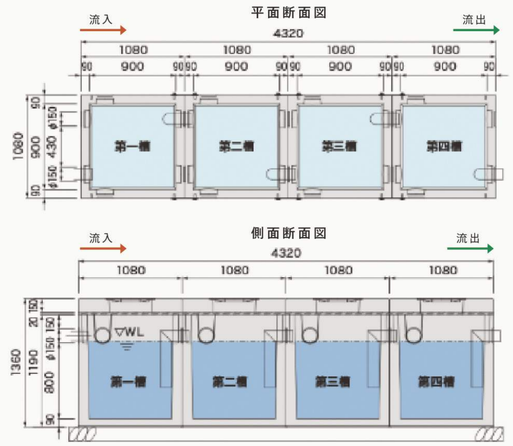




部材呼び名	型式	使用数量	単位重量(kg)	参考重量(kg)	使用数量
桝部	60-2TB	1基	806	806	
	60-2TC	1基	808	808	
桝縁	60-2FB	2枚	208	416	
鋳鉄蓋FCD T-25		4枚	21	84	
ベンドパイプ		4本	15	60	※銅管(溶融亜鉛めっき)
合計		1式		2174	参考容量 1.14(m³)

AC-900連結式4槽(底有)





部材呼び名	型式	使用数量	単位重量(kg)	参考重量(kg)	使用数量
桝部	90-T	4基	1,188	4,752	
桝縁	90-F	4枚	323	1,292	
鋳鉄蓋FCD T-25		4枚	21	84	
ベンドパイプ		4本	15	60	※銅管(溶融亜鉛めっき)
合計		1式		6,188	参考容量0.6x4=2.4(m³)